

**第3章** パタパタ…動きと音が心地よい!

数量限定で  
キット頒布

# メカ式7セグを使った ラジオ周波数表示回路

足立 克 Masaru Adachi

イントロダクション

1  
2

3  
4

5  
6

1  
2  
3

4  
1  
2  
3

1  
2  
3

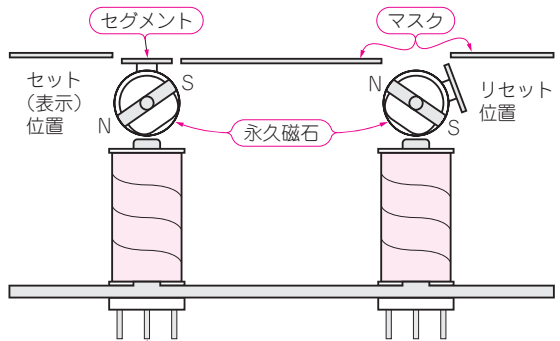
ラジオの受信周波数を表示する周波数カウンタには、7セグメントLEDをはじめ、さまざまな表示デバイスが用いられています。ここでは一風変わった磁気反転式表示器を使って製作した周波数カウンタを紹介します。ラジオの全体像は第2章をご覧ください。

## キー・デバイスのメカ式7セグ 「磁気反転式表示器」

写真1に示す磁気反転式表示器は、永久磁石を取り付けたセグメントを電磁石の力で反転させることによって数字を表示する装置です。

図1に示すとおり電磁石にはセット、リセット、コモン3つの端子があります。コモン端子からセットまたはリセットのいずれかの端子に電流を流すことによって電磁石の極性を変え、セグメントを反転するようになっています。

反転動作は、電磁石に一瞬だけ電流を流すことによって行われます。いったん反転が完了するとその後は電流を流す必要がないため、省エネな表示デバイスでもあります。



152L型のみ基板用端子、ほかの型はリード線

図1 磁気反転式表示器とその構造

写真1 永久磁石を取り付けたセグメントを電磁石の力で反転させることによって数字を表示する磁気反転式表示器

本器は「CQ出版WebShop (<http://shop.cqpub.co.jp>)」で数量限定頒布します!  
価格：7,480円(税込)

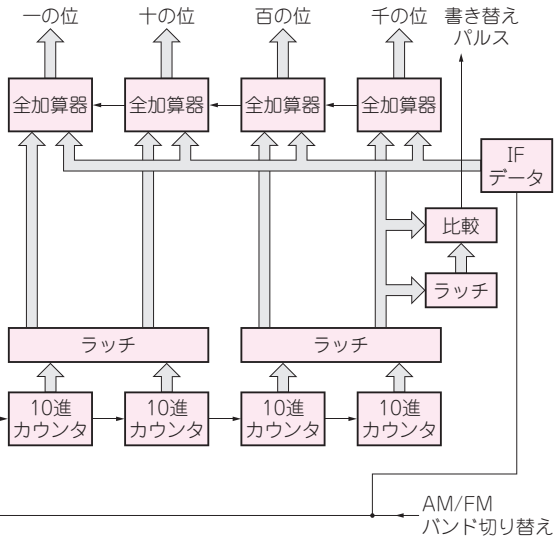


図2 構成要素①…周波数カウンタ部の回路ブロック

